

令和5年度 福岡市NPO・ボランティア交流センター指定管理評価報告

1 施設概要

- (1) 名 称：福岡市NPO・ボランティア交流センター（愛称：あすみん）
- (2) 所 在 地：福岡市中央区今泉一丁目19-22 天神クラス4階
- (3) 業務内容：NPOやボランティアなどが行う市民公益活動の支援
〔 ①情報の収集及び提供 ②調査及び研究 ③研修及び講座の実施 ④相談 ⑤施設の提供 〕
- (4) 施設の役割

NPOやボランティアなどによる市民公益活動に関する情報及び交流の場の提供により、市民の自主的かつ自発的な活動の促進を図る。

2 指定管理者

- (1) 「あすみん」マネジメントグループ
構成団体：特定非営利活動法人 九州コミュニティ研究所（代表者）
株式会社ミカサ
- (2) 評価対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日（1年間）
（指定管理期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間））

3 評価方法

- (1) 指定管理者による自己評価
- (2) 市による評価
- (3) 評価委員会による評価
- (4) 市による最終評価

指定管理者から提出された令和5年度事業報告書、自己評価書及び収支決算書等の確認、現地調査及びヒアリング等を実施し、別紙「評価シート」の評価項目ごとに点数を付して、評価を行った。

4 評価基準

指定管理者と市との協定書等に基づき、管理運営が適正に行われていることを求める項目は「達成評価基準」、指定管理者の創意工夫により更なる業務成果の向上が期待できる項目は「努力評価基準」とし、その他、特に評価（改善）すべき事項がある場合は、加点（減点）を行った。

5 評価結果

(1) 総合評価	B
(2) 所見	前年度と比較し、利用者数、登録団体数が増加しており、利用者の満足度も高い。情報誌のデジタル化、デザインスキルやコーディネート力を活用した講座・相談の実施、企業や学生など多様な主体を交えた事業の実施、SNS やプレスリリースを活用した効果的なプロモーションなど、様々な工夫を凝らし、利用者拡大につなげている。

【参考】総合評価判定基準

A	特に優れている
B	優れている
C	標準である
D	やや劣っている
E	劣っている